

万福寺 親鸞聖人御遺骨と実悟上人添状

大谷派 山梨県山梨市下栗原

実悟上人（蓮如上人の10男）が浄興寺（上越市）を訪れた際、襲蔵されていた聖人のご遺骨を所望したので分与され、住持していた願得寺（門真市）に安置していた。実悟の附状には「此開山親鸞聖人御骨は、去ぬる享禄元（「二年」の誤りか）年秋、予信濃国に下向し、なかぬまの浄興寺所持候中、少わけて七月十八日にとり候内まいらせ候、御信仰肝要候也、元龜三年七月二十五日 願得寺釈実悟（花押） にしとのへ参」と記述されている。



万福寺 親鸞聖人御遺骨



実悟の附状